

平成29年6月14日

保護者 各位

武蔵越生高等学校  
校長 大塚 英男

## 平成29年度 高等学校等就学支援金Ⅱ期以降の申請手続きについて

梅雨の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は本校教育活動、並びに事務手続きにおいて、格別のご高配を賜りありがたく御礼申し上げます。

早速ではありますが、平成29年度 高等学校等就学支援金Ⅱ期以降の申請手続きについて通達が下りましたので下記のとおりご案内申し上げます。

取り急ぎのご連絡となりましたが、必要書類の提出をお願い致します。

### 記

#### 1. 補助対象になる基準額

各家庭の所得に応じて補助される金額が異なりますので必ず下記の基準表をご確認下さい。  
尚、市町村民税の所得割額の基準額は保護者（親権者）の合算により判断いたします。

補助金額（月額）	補助の対象となる市町村民税の所得割額の金額
月額 9,900 円	市町村民税の所得割額が 154,500 円以上 304,200 円未満の世帯
月額 14,850 円	市町村民税の所得割額が 51,300 円以上 154,500 円未満の世帯
月額 19,800 円	市町村民税の所得割額が 100 円以上 51,300 円未満の世帯
月額 24,750 円	市町村民税の所得割額が非課税(0 円)の世帯
補助対象外	市町村民税の所得割額が 304,200 円以上の世帯

#### 2. 就学支援金の支給方法

就学支援金は学校が代理でうけとる間接支給です。本校は授業料引落時に就学支援金受給額の相殺または振込を行っております。

4月の授業料等の引落しは通常通りの金額を口座振替し、8月の授業料引落で就学支援金4. 5. 6月分の相殺をし、12月の授業料引落で就学支援金7月～翌年3月分を相殺・振込致します。

#### 3. 諸注意

※今回の申請で就学支援金7月～翌年6月分を決定致します。

※就学支援金は授業料に対しての補助金になります。授業料以上の金額は補助されません。

※国庫補助ですので提出期限を厳守願います。

※必ず別紙『高等学校等就学支援金について』をお読みください。

※期限以内に提出・連絡のない世帯は基準外とし、申請を致しますのでご了承下さい。

#### 4. 提出書類について

① 提出期限 **平成29年6月28日(水) ※期限厳守※**

② 提出場所 事務室窓口

③ 書類提出対象者 補助対象の世帯  
※対象外の世帯は『申請辞退届出書』をご提出下さい。

④ 提出書類 下記の書類を任意の封筒に入れ、クラス・氏名を記入し事務室までご提出下さい。

(ア) 高等学校就学支援金申請書(様式第1号)

※記入例を参考にご記入下さい。

※訂正が発生した場合、二重線をし、訂正印を押してください。

(イ) 課税証明書

※課税証明書は市町村役場で発行しております。

※課税証明書は地域により名称が異なる場合がございます。

参考資料を添付してありますので一読願います。

※必ず市町村民税所得割の記載のあるものを発行して下さい。

※「保護者の課税証明書」及び「配偶者の課税証明書」をご提出下さい。

※給与明細・特別徴収税額通知書・源泉徴収票では手続き出来ません。

提出書類早見表	申請書	申請書 裏面チェック事項	課税証明書	
			保護者分	配偶者分
ふたり親世帯	○	※(2)-1 ① にチェック	○	○
ふたり親世帯 (配偶者控除あり)	○	※(2)-1 ② ア にチェック	○	
ひとり親世帯	○	※(2)-1 ② ウ にチェック	○	
海外赴任世帯 (保護者のみ)	○	※(2)-1 ② イ にチェック		○
海外赴任世帯 (保護者・配偶者)	○	※(2)-2 ⑦ にチェック		
基準外世帯	申請辞退届出書 を提出			

※その他の事由に関しましては提出前に事務室までご連絡ください。

以上

#### 【添付書類】

- ① 申請用紙記入例(両面印刷)
- ② 市町村別所得・課税証明書の名称一覧
- ③ 高等学校等就学支援金申請辞退届
- ④ 高等学校等就学支援金 受給資格認定申請書・収入状況申請書
- ⑤ 高等学校就学支援金について

※記入前に必ず【就学支援金について（別紙）】をお読みください※

平成29年6月30日

埼玉県知事 殿

**記入例** ※保護者配偶者控除なしの場合

高等学校等就学支援金

受給資格認定申請書（初回時）

高等学校等就学支援金（以下「就学支援金」といいます。）の受給資格の認定を申請します。

収入状況届出書（2回目以降）

既に受給資格認定を受けているため、就学支援金の支給に関して、保護者等の収入の状況に関する事項について、届け出ます。

（上の2つの□のうち、いずれかの□にレ印を付けてください。）

（次の2つの事項を必ず確認の上、□にレ印を付けてください。）

この申請書又は届出書の記載内容は、事実に相違ありません。

この申請書又は届出書に虚偽の記載をして提出し、就学支援金の支給をさせた場合は、不正利得の徴収や3年以下の懲役又は100万円以下の罰金等に処されることがあることを承知しています。

（以下の空欄に生徒本人が署名してください。保護者等による代筆も可能です。記入に当たっては、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んでから記入してください。）

※ふりがな	むさし		おごせ	
※生徒の氏名	姓	武蔵	名	越生

※生徒の生年月日	昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 10 年 1 月 1 日
※生徒の住所	〒350-0417 埼玉 都道府県 入間郡 市区町村 越生 上野東1-3-10
※保護者等の連絡先	自宅 (049-292-3245) 携帯 (母: 090-****-**** / 父: 080-****-****)
生徒が在学する学校の名称	学校法人 越生学園 武蔵越生高等学校

【1. 高等学校等の在学期間について】（収入状況届出書の場合は記入不要です。）

※次のいずれかに該当する者は就学支援金の受給資格認定の申請ができません。

- ・高等学校等（修業年限が3年未満のものを除きます。）を卒業又は修了した者
- ・高等学校等に在学した期間（定時制・通信制等に在学した期間は、その月数を1月の4分の3に相当する月数として計算。）が通算して36月を超えた者（ただし、支給停止期間等は含めません。）

①現在の学校の在学期間	武蔵越生高等学校 私立	平成 年 月 日 ～ (うち支給停止期間等) 平成 年 月 日 ～平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科  全日制 普通科
②過去の学校の在学期間	学校名  立	平成 年 月 日 ～平成 年 月 日 (うち支給停止期間等) 平成 年 月 日 ～平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科

**【2. 保護者等の収入の状況について】**

(1) 就学支援金の支給を受けようとする時期の区分 (いずれかの□にレ印を付けてください。)

<input type="checkbox"/> 4月～6月 (前年度の課税証明書等を添付)	<input checked="" type="checkbox"/> 7月～翌年6月 (今年度の課税証明書等を添付)
--	---

(2) 申請又は届出時点における保護者等の状況及び添付する課税証明書等については次のとおりです。  
(次の①から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。)

(2) - 1 次の保護者等の課税証明書等を添付します。	
①	<input checked="" type="checkbox"/> 親権者(両親)2名分 両親の課税証明書等を添付する場合
②	<input type="checkbox"/> 親権者1名分 (アからウまでのいずれかの□にレ印を付けてください。) (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、④から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。)
	ア <input type="checkbox"/> 親権者の1人が控除対象配偶者であり、市町村民税所得割を課されたとしても所得制限の要件や加算支給の区分に影響がないことが明らかな場合
	イ <input type="checkbox"/> 親権者の1人が課税期日に日本国内に在住していないなど市町村民税所得割を課されていない場合
	ウ <input type="checkbox"/> ・離婚、死別等により親権者が1人の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を添付できない場合 等
③	<input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) (未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除きます。)
④	<input type="checkbox"/> 生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤	<input type="checkbox"/> 生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、 ・成人に達している場合、 ・未成年であるが市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ている場合 等
(2) - 2 次の理由により、課税証明書等を添付しません。	
⑥	<input type="checkbox"/> 所得確認の対象が生徒本人 (親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合) であるが、未成年で市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合
⑦	<input type="checkbox"/> 親権者、未成年後見人、主たる生計維持者又は生徒本人の全員が、課税期日に日本国内に在住していないなど市町村民税所得割を課されていない場合

課税証明書等を添付する保護者等の氏名及び生徒との続柄 (⑥又は⑦にレ印を付けた場合は不要です。)

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
武蔵 太郎	父親	武蔵 花子	母親

※ 収入の修正申告や税額の更正決定による市町村民税所得割の額の変更や離婚・死別、養子縁組等による保護者等の変更があった場合には、支給額が変更となることがありますので、必ず学校に連絡してください。

**【3. 確認事項】**

(次の事項を確認の上、□にレ印を付けてください。)

就学支援金を授業料に充てるとともに、就学支援金の支給に必要な事務手続を学校設置者に委任することを了承します。

学校受付日 平成 年 月 日 (学校において記入。)

# 市（町村）民税所得割額記載書類一覧（市町村別）

（平成29年5月現在）

	市町村名	課税証明書等の名称		市町村名	課税証明書等の名称		
あ 行	上尾市	課税（非課税）証明書	な 行	所沢市	課税証明書		
	朝霞市	市・県民税課税所得証明書		戸田市	市・県民税課税証明書		
	伊奈町	所得・（非）課税証明書		長瀬町	所得課税証明書		
	入間市	課税証明書		滑川町	所得・課税証明書		
	小鹿野町	町県民税所得課税証明書		新座市	所得・（非）課税証明書		
	小川町	住民税決定証明書		蓮田市	課税証明書		
	桶川市	課税（非課税）証明書		鳩山町	所得・課税証明書		
	越生町	住民税決定証明書		羽生市	所得・課税証明書		
か 行	春日部市	課税（非課税）証明書	は 行	飯能市	課税証明書		
	加須市	市民税・県民税課税・非課税証明書		東秩父村	所得・課税証明書		
	神川町	所得・課税（非課税）証明書		東松山市	住民税決定証明書		
	上里町	課税証明書		日高市	市民税・県民税（非）課税証明書		
	川口市	課税（非課税）証明書		深谷市	課税（所得）証明書		
	川越市	課税証明書		富士見市	市民税・県民税課税証明書		
	川島町	町・県民税課税証明書		ふじみ野市	市民税・県民税課税証明書		
	北本市	市県民税課税（所得）証明書		本庄市	所得・課税証明書		
	行田市	所得課税証明書		松伏町	所得・課税・扶養証明書		
	久喜市	市民税・県民税所得証明書		三郷市	課税（所得）証明書		
	熊谷市	市民税県民税所得証明書・非課税証明書		美里町	課税証明書		
	鴻巣市	課税証明書		皆野町	町県民税課税台帳記載事項証明書		
	越谷市	課税証明書		宮代町	住民税決定証明書		
	さ 行	さいたま市		市民税・県民税所得証明書	ま 行	三芳町	課税証明書
		坂戸市		課税・非課税（所得）証明書		毛呂山町	課税証明書
		幸手市		住民税決定（課税・非課税）証明書		八潮市	課税・所得証明書
狭山市		課税・非課税（所得）証明書	横瀬町	住民税決定証明書			
志木市		課税証明書	吉川市	市民税・県民税課税証明書			
白岡市		市県民税課税所得証明書	吉見町	住民税決定証明書			
杉戸町		住民税決定証明書	寄居町	町県民税課税台帳記載事項証明書			
草加市		課税（非課税）証明書	嵐山町	住民税決定証明書			
た 行	秩父市	所得課税証明書	ら 行	和光市	住民税決定証明書		
	鶴ヶ島市	住民税決定証明書		蕨市	市・県民税（非）課税証明書		
	ときがわ町	住民税決定証明書					

※ 市町村によっては16歳未満の年少扶養親族の数が記載されない場合もありますので、  
証明書の取得時にはその数が記載されるよう申請を行ってください。

保護者各位

武蔵越生高等学校

### 就学支援金申請辞退届について

梅雨の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。  
 日頃は本校教育活動、並びに事務手続きにおいて、各別のご高配を賜りありがたく御礼申し上げます。  
 さて、例年実施しております高等学校等就学支援金申請ですが、今年度の就学支援金Ⅱ期分より基準外等の理由により申請をしない世帯につきましては下記の【就学支援金申請辞退届出書】のご提出をお願い致します。  
 尚、辞退届提出後に家計の急変等があった場合は必ず学校事務室までご連絡下さい。

キ リ ト リ

平成 年 月 日

### 就学支援金申請辞退届出書

学年・クラス	年 組 番
生徒氏名	
保護者氏名	
保護者連絡先	

上記の者は下記の理由により高等学校等就学支援金（平成29年7月～平成30年6月分）の受給申請を辞退致します。

チェック欄	辞 退 理 由
	親権者の市町村民税の所得割額が基準を上回ったため。
	親権者の課税証明書の発行が海外赴任以外の理由で出来ないため。
	その他 ※辞退理由を余白にご記入下さい。 辞退理由 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>

※該当となる理由のチェック欄に“○”の記入をお願い致します。

記入者

印

平成29年 月 日

埼玉県知事 殿

高等学校等就学支援金

受給資格認定申請書（初回時）

高等学校等就学支援金（以下「就学支援金」といいます。）の受給資格の認定を申請します。

収入状況届出書（2回目以降）

既に受給資格認定を受けているため、就学支援金の支給に関して、保護者等の収入の状況に関する事項について、届け出ます。

（上の2つの□のうち、いずれかの□にレ印を付けてください。）

（次の2つの事項を必ず確認の上、□にレ印を付けてください。）

この申請書又は届出書の記載内容は、事実と相違ありません。

この申請書又は届出書に虚偽の記載をして提出し、就学支援金の支給をさせた場合は、不正利得の徴収や3年以下の懲役又は100万円以下の罰金等に処されることがあることを承知しています。

（以下の空欄に生徒本人が署名してください。保護者等による代筆も可能です。記入に当たっては、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んでから記入してください。）

※ふりがな			
※生徒の氏名	姓		名

※生徒の生年月日	昭和・平成	年	月	日
※生徒の住所	〒			
	都道府県		市区町村	
※保護者等の連絡先				
生徒が在学する学校の名称	学校法人 越生学園 武蔵越生高等学校			

【1. 高等学校等の在学期間について】（収入状況届出書の場合は記入不要です。）

※次のいずれかに該当する者は就学支援金の受給資格認定の申請ができません。

- ・高等学校等（修業年限が3年未満のものを除きます。）を卒業又は修了した者
- ・高等学校等に在学した期間（定時制・通信制等に在学した期間は、その月数を1月の4分の3に相当する月数として計算。）が通算して36月を超えた者（ただし、支給停止期間等は含めません。）

①現在の学校の在学期間	武蔵越生高等学校 私立	平成 年 月 日 ～ (うち支給停止期間等) 平成 年 月 日 ～平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科  全日制 普通科
②過去の学校の在学期間	学校名  立	平成 年 月 日 ～平成 年 月 日 (うち支給停止期間等) 平成 年 月 日 ～平成 年 月 日	学校の種類・課程・学科

**【2. 保護者等の収入の状況について】**

(1) 就学支援金の支給を受けようとする時期の区分 (いずれかの□にレ印を付けてください。)

<input type="checkbox"/> 4月～6月 (前年度の課税証明書等を添付)	<input type="checkbox"/> 7月～翌年6月 (今年度の課税証明書等を添付)
--	--

(2) 申請又は届出時点における保護者等の状況及び添付する課税証明書等については次のとおりです。  
(次の①から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。)

(2) - 1 次の保護者等の課税証明書等を添付します。

①	<input type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分 両親の課税証明書等を添付する場合
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 (アからウまでのいずれかの□にレ印を付けてください。) (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、④から⑦までのいずれかの□にレ印を付けてください。)
		ア <input type="checkbox"/> 親権者の1人が控除対象配偶者であり、市町村民税所得割を課されたとしても所得制限の要件や加算支給の区分に影響がないことが明らかな場合
		イ <input type="checkbox"/> 親権者の1人が課税期日に日本国内に在住していないなど市町村民税所得割を課されていない場合
		ウ <input type="checkbox"/> ・離婚、死別等により親権者が1人の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を添付できない場合 等
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人 <input type="checkbox"/> 名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) (未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除きます。)
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、 ・成人に達している場合、 ・未成年であるが市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ている場合 等

(2) - 2 次の理由により、課税証明書等を添付しません。

⑥	<input type="checkbox"/>	所得確認の対象が生徒本人 (親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合) であるが、未成年で市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合
⑦	<input type="checkbox"/>	親権者、未成年後見人、主たる生計維持者又は生徒本人の全員が、課税期日に日本国内に在住していないなど市町村民税所得割を課されていない場合

課税証明書等を添付する保護者等の氏名及び生徒との続柄 (⑥又は⑦にレ印を付けた場合は不要です。)

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄

※ 収入の修正申告や税額の更正決定による市町村民税所得割の額の変更や離婚・死別、養子縁組等による保護者等の変更があった場合には、支給額が変更となることがありますので、必ず学校に連絡してください。

**【3. 確認事項】**

(次の事項を確認の上、□にレ印を付けてください。)

就学支援金を授業料に充てるとともに、就学支援金の支給に必要な事務手続を学校設置者に委任することを了承します。

学校受付日 平成29年6月30日 (学校において記入。)



## 高等学校等就学支援金について

本制度は、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、生徒の授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

社会全体の負担により、生徒の学びを支えることを通じて、将来、我が国社会の担い手として広く活躍されることが期待されています。

## 記入上の注意

【1. 高等学校等の在学期間について】の欄は次によって記入してください。

- イ ①において現在通っている学校の在学期間の始期について記入してください。
- ロ 過去に高等学校等に在学したことがある場合には、②において過去に在学した全ての学校の在学期間について記入してください。
- ハ これまでに就学支援金を受給した期間がある場合は、受給事由が消滅した旨の通知又は受給の実績を証明する書類を提出してください。
- ニ 「高等学校等」とは、国公立の高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるものをいいます。
- ホ 「支給停止期間等」とは、就学支援金の支給が停止された期間及び日本国内に住所を有していなかった期間をいいます。また、所得制限に係る要件に該当することとなった場合に高等学校等を休学していた期間、平成22年4月1日より前に公立高等学校等（公立の高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部並びに高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則第1条第1項第2号に掲げる専修学校の一般課程及び同項第3号に掲げる各種学校）以外の高等学校等を休学していた期間、平成26年4月1日より前に公立高等学校等を休学していた期間も含まれます。
- ヘ 「学校の種類・課程・学科」の欄には、「①高等学校（全日制）」、「②高等学校（定時制）」、「③高等学校（通信制）」、「④中等教育学校（後期課程）」、「⑤特別支援学校（高等部）」、「⑥高等専門学校（1～3学年）」、「⑦専修学校（高等課程）昼間学科」、「⑧専修学校（一般課程）昼間学科」、「⑨専修学校（高等課程）夜間等学科」、「⑩専修学校（一般課程）夜間等学科」、「⑪専修学校（高等課程）通信制学科」、「⑫専修学校（一般課程）通信制学科」、「⑬各種学校（外国人学校）」、「⑭各種学校（その他）」の別を記入してください。

【2. 保護者等の収入の状況について】の欄は、次によって記入してください。

- イ 課税証明書等は通常毎年6月中に発行されるため、4～6月の支給については、前年度の課税証明書等（前々年の所得を証明するもの）を添付し、7月～翌年3月については、今年度の課税証明書等（前年の所得を証明するもの）を添付してください。なお、7月以降に課税証明書等を添付し、支給要件を満たすことが確認された生徒は、原則として、翌年6月まで支給を受けることができます。

- ロ 保護者とは、親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいい、次の①～⑤は除きます。
- ①児童福祉法第33条の2第1項、第33条の8第2項又は第47条第2項の規定により親権を行う児童相談所長
  - ②児童福祉法第47条第1項の規定により親権を行う児童福祉施設の長
  - ③法人である未成年後見人
  - ④民法第857条の2第2項に規定する財産に関する権限のみを行使すべきこととされた未成年後見人
  - ⑤その他生徒の就学に要する経費の負担を求めることが困難と認められる保護者
- ハ 【2. 保護者等の収入の状況について】 (2)②に該当するときは、必ず「親権者」全員の状況を確認の上、記入してください。  
(2)②ウの「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を添付できない場合」とは、例えば、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合は該当します。この「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の課税証明書等を添付できない場合」は、(2)④から⑥までの「親権者が存在しない場合」に含まれます。
- ニ 【2. 保護者等の収入の状況について】 (2)①又は③に該当するときは、保護者等全員の課税証明書等を添付してください。
- ホ 【2. 保護者等の収入の状況について】 (2)④又は⑤に該当するときは、生徒本人又は主として生徒の生計をその収入により維持している者（医療保険各法（注）における扶養者等）の課税証明書等を添付してください。また、主として生徒の生計をその収入により維持する者がいるかどうかについて確認できる書類（生徒の健康保険証等の写し等）を添付してください。
- （注） 医療保険各法とは、健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は私立学校教職員共済法をいいます。

## 留意事項

- イ 4月に入学した新入生は、原則として4月中に申請を行う必要があります。また、転校の場合も、原則として転校した月のうちに申請を行う必要があります。
- ロ 過去に国公立を問わず高等学校等（修業年限が3年未満のものを除きます。）を卒業し又は修了したことがある場合には、就学支援金の受給資格はありません。また、高等学校等に在学した期間（定時制・通信制等に在学した期間は、その月数を1月の4分の3に相当する月数として計算。）が通算して36月を超えた場合も受給資格はありません。（ただし、支給停止期間等は含めません。）
- ハ 2つ以上の課程に在学している場合は、いずれか1つの課程を選んで申請をしてください。
- ニ 偽りその他不正の手段により就学支援金の支給をさせた場合は、高等学校等就学支援金の支給に関する法律第11条及び第21条の規定に基づき、不正利得の徴収や刑罰に処されることがあります。
- ホ 受給資格の認定を受けた後は、原則毎年、都道府県（文部科学省）が定める期限までに、収入状況届出書を提出する必要があります。また、保護者等や収入の状況に変更があった場合にも、収入状況届出書を提出する必要があります。
- ヘ 正当な理由がなく都道府県（文部科学省）が定める期限までに収入状況届出書の提出がなされないときは、就学支援金の支払が一時差し止められる場合がありますので、必ず提出してください。
- ト 保護者が課税期日に日本国外に在住することにより保護者のうち一部又は全員の所得に関する書類を提出できないときは、就学支援金の加算支給はされません。